



2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月13日

上場会社名 株式会社Arent 上場取引所 東
 コード番号 5254 URL <https://arent.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鴨林 広軌
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 中嶋 翼 TEL 053 (523) 8072
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第3四半期の連結業績（2025年7月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益		1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	3,858	22.6	475	△69.3	489	△32.6	1,237	158.2	185.61	177.10
2025年6月期第3四半期	3,147	44.0	1,548	72.4	726	5.3	479	15.7	76.98	71.79

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 1,243百万円 (162.6%) 2025年6月期第3四半期 473百万円 (14.5%)

	売上高		のれん償却前 営業利益		のれん償却前 経常利益		のれん償却前 親会社株主に帰属する 四半期純利益		のれん償却前 1株当たり 四半期純利益	のれん償却前 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	3,858	22.6	651	△58.3	665	△10.3	1,413	185.4	212.01	202.29
2025年6月期第3四半期	3,147	44.0	1,564	74.2	742	7.6	495	19.5	79.55	74.19

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	
2026年6月期第3四半期	10,379		7,097		68.4
2025年6月期	6,084		4,801		78.9

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 7,096 百万円 2025年6月期 4,798 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年6月期	—	0.00	—	—	—
2026年6月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,831	44.8	1,032	△39.0	1,022	17.8	1,573	148.4	233.84
(参考：のれん償却前)	5,831	44.8	1,353	△22.1	1,343	46.8	1,895	178.2	281.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 4社 (社名) 株式会社スタッグ、株式会社建設ドットウェブ、アサクラソフト株式会社、株式会社レッツ
除外 1社 (社名) 株式会社PlantStream

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年6月期3Q	6,954,295株	2025年6月期	6,439,580株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	96,836株	2025年6月期	207株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年6月期3Q	6,665,687株	2025年6月期3Q	6,224,500株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等に支えられ緩やかな回復傾向にあるものの、物価の上昇や為替の変動、米国の通商政策や中東情勢等の影響について注視を要する状況が続いております。

このような経済環境の下、AI技術の普及が急速に進むなど、企業のデジタル化・DX推進の流れは継続しており、当社グループが主なターゲットとする建設業界においても、時間外労働の上限規制等への対応が求められる中、DXによる生産性向上への関心が高まっています。

当社グループは、クライアントの課題を把握し、モデル化・実装まで一気通貫でDXを推し進めるためのソフトウェア開発及びサービス提供を行っております。

特に、建設業界のDX需要の高まりに狙いを定め、当社グループの強みの一つである「3Dを核としたシステム開発の技術力」を活かし、クライアント企業の業務効率化を実現する高品質なプロダクトの共創開発に注力しております。

また、当社グループは、DX事業の更なる拡大とともに、自社グループのプロダクト群の拡充を目指しています。プロダクト事業では、これまでに開発した空間自動設計システム「PlantStream®」や、建設業界のBIM化を推進するソフトウェア「Lightning BIMシリーズ」に加えて、M&Aで子会社化した各社が保有するプロダクトなどの販売拡大を目指し、営業活動の強化に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,858,493千円（前年同期比22.6%増）、営業利益475,941千円（同69.3%減）、経常利益489,778千円（同32.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,237,239千円（同158.2%増）となりました。なお、当社グループは、当第3四半期連結累計期間より、M&Aにより発生した会計上ののれんの償却額を除いたキャッシュ・フローベースの実質的な収益力を評価するため、のれん償却前営業利益を重要な経営指標として追加いたしました。当第3四半期連結累計期間におけるのれん償却前営業利益は651,925千円（同58.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第3四半期連結累計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に管理するため、従来、セグメント利益又は損失には、経常利益を用いておりましたが、営業利益にのれん償却費を足し戻したのれん償却前営業利益に変更したほか、事業内容をより明確に表現するため、セグメント名称を「プロダクト共創開発」から「DX事業」、「自社プロダクト」から「プロダクト事業」へそれぞれ変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等の注記) II 当第3四半期連結累計期間」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

(DX事業)

DX事業では、主に建設業界のクライアントからの開発受注が順調に増加し、業績は堅調に推移いたしました。この結果、当セグメントの売上高は2,756,220千円（前年同期比7.6%増）、セグメント利益は1,001,487千円（同13.7%減）となりました。セグメント利益率は36.3%と、昨年の一時的要因を含めた利益率には及ばないものの、事業成長に備えた組織体制整備等の先行投資を実行しながら、高い利益率を維持しております。

(プロダクト事業)

プロダクト事業では、空間自動設計システム「PlantStream®」等の既存製品の販売拡大に取り組むほか、「Lightning BIMシリーズ」第3弾となる意匠設計における操作負荷を軽減する新ツール「Lightning BIM AI Agent」、株式会社大林組と開発したAIを実装した現場支援型スマート工程ソフト「PROCOLLA」をリリースいたしました。なお、前連結会計年度に連結子会社化した株式会社構造ソフト、株式会社PlantStream、当第3四半期連結累計期間に連結子会社化した株式会社スタッグ、株式会社建設ドットウェブ、アサクラソフト株式会社の連結子会社化後の経営成績は、「プロダクト事業」セグメントへ追加しております。この結果、当セグメントの売上高は1,254,055千円（前年同期は107,387千円）、セグメント利益は24,190千円（前年同期は23,817千円の損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりとなりました。

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末比4,294,526千円増加し、10,379,039千円となりました。これは主に、連結子会社の取得により、のれんが1,815,240千円、長期大型契約の割合の増加等により受取手形、売掛金及び契約資産が814,956千円、株式会社PlantStreamの吸収合併に伴う繰越欠損金の引継ぎ等により繰延税金資産が1,102,297千円

増加したことによるものです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末比1,998,453千円増加し、3,281,137千円となりました。これは主に、連結子会社の増加の影響等により、契約負債が1,317,727千円増加したことによるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末比2,296,072千円増加し、7,097,901千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が1,237,239千円、株式交換等により資本金が713,660千円、資本剰余金が681,007千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の連結業績予想につきましては、2026年2月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,826,528	3,632,538
受取手形、売掛金及び契約資産	562,692	1,377,649
仕掛品	9,606	24,370
貯蔵品	—	7,756
その他	165,342	341,258
貸倒引当金	—	△180
流動資産合計	4,564,170	5,383,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,728	41,595
工具、器具及び備品(純額)	27,846	70,065
その他(純額)	—	18,060
有形固定資産合計	33,574	129,721
無形固定資産		
のれん	839,108	2,654,349
ソフトウェア	414,954	589,957
ソフトウェア仮勘定	90,138	114,277
その他	1,032	882
無形固定資産合計	1,345,234	3,359,467
投資その他の資産		
関係会社株式	—	26,361
繰延税金資産	90,315	1,192,612
その他	51,219	287,483
投資その他の資産合計	141,534	1,506,457
固定資産合計	1,520,343	4,995,646
資産合計	6,084,513	10,379,039
負債の部		
流動負債		
短期借入金	120,000	158,750
1年内返済予定の長期借入金	27,612	49,884
1年内償還予定の社債	61,000	21,000
未払金	83,317	213,397
未払費用	159,364	197,651
未払法人税等	195,725	91,488
未払消費税等	16,269	69,821
契約負債	442,354	1,760,081
賞与引当金	21,745	89,081
その他	41,138	72,484
流動負債合計	1,168,527	2,723,642
固定負債		
社債	34,500	74,000
長期借入金	79,657	146,610
役員退職慰労引当金	—	302,056
退職給付に係る負債	—	26,380
その他	—	8,448
固定負債合計	114,157	557,495
負債合計	1,282,684	3,281,137

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	572,876	1,286,536
資本剰余金	2,334,514	3,015,522
利益剰余金	1,899,008	3,136,248
自己株式	△987	△340,635
株主資本合計	4,805,411	7,097,671
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△7,125	△836
その他有価証券評価差額金	—	△45
その他の包括利益累計額合計	△7,125	△881
新株予約権	2,224	1,112
非支配株主持分	1,318	—
純資産合計	4,801,829	7,097,901
負債純資産合計	6,084,513	10,379,039

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	3,147,695	3,858,493
売上原価	1,010,845	1,687,872
売上総利益	2,136,850	2,170,621
販売費及び一般管理費	588,423	1,694,680
営業利益	1,548,427	475,941
営業外収益		
受取利息	8,804	3,925
受取出向料	719	—
為替差益	2,059	8,240
その他	683	9,228
営業外収益合計	12,266	21,394
営業外費用		
支払利息	2,856	2,939
持分法による投資損失	830,658	—
保険解約損	—	3,054
その他	598	1,563
営業外費用合計	834,113	7,557
経常利益	726,580	489,778
特別利益		
段階取得に係る差益	224,584	—
新株予約権戻入益	—	324
特別利益合計	224,584	324
特別損失		
ソフトウェア除却損	—	4,064
特別損失合計	—	4,064
税金等調整前四半期純利益	951,164	486,038
法人税、住民税及び事業税	332,111	180,943
法人税等調整額	141,456	△931,861
法人税等合計	473,568	△750,917
四半期純利益	477,596	1,236,955
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,569	△283
親会社株主に帰属する四半期純利益	479,166	1,237,239

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	477,596	1,236,955
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4,221	6,289
その他有価証券評価差額金	—	△45
その他の包括利益合計	△4,221	6,243
四半期包括利益	473,374	1,243,199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	474,944	1,243,483
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,569	△283

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2, 4	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	DX事業 (注) 4	共創プロダク ト販売 (注) 1	プロダクト 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,850,639	274,979	107,387	2,233,006	△274,979	1,958,027
セグメント間の内部売上 高又は振替高	711,166	—	—	711,166	478,501	1,189,668
計	2,561,806	274,979	107,387	2,944,173	203,522	3,147,695
顧客との契約から生じる 収益	2,561,806	274,979	107,387	2,944,173	203,522	3,147,695
その他の収益	—	—	—	—	—	—
セグメント利益又は 損失(△)	1,160,551	△207,274	△23,817	929,459	618,967	1,548,427

(注) 1. 共創プロダクト販売の売上高及びセグメント利益又は損失の金額は、当社の持分法適用関連会社である株式会社PlantStreamの財務情報の金額に当社の持分割合を乗じた金額であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去478,501千円、四半期連結損益計算書に計上されない持分法適用関連会社の営業損失の消去207,274千円、子会社株式取得関連費用△50,825千円及び報告セグメントののれん償却費△15,982千円であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. DX事業の売上高のうち、セグメント間の内部売上高又は振替高は、当社の持分法適用関連会社である株式会社PlantStreamに対するものであり、調整額において、持分法適用による未実現損益の消去を行っております。

5. 報告セグメントのセグメント利益は、営業利益にのれん償却費を足し戻したのれん償却前営業利益にて表示しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

共創プロダクト販売セグメントにおいて、ソフトウェアの減損損失を計上しております。なお当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において614,589千円であります。この金額は、当社の持分法適用関連会社であった株式会社PlantStreamの財務情報の金額に当社の持分割合を乗じた金額であります。減損に関する連結調整については、当セグメントの損失には含めておりません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年7月1日 至 2026年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	DX事業	プロダクト 事業 (注) 3	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,605,313	1,253,180	3,858,493	—	3,858,493
セグメント間の内部売上 高又は振替高	150,907	875	151,782	△151,782	—
計	2,756,220	1,254,055	4,010,276	△151,782	3,858,493
顧客との契約から生じる 収益	2,756,220	1,254,055	4,010,276	△151,782	3,858,493
その他の収益	—	—	—	—	—
セグメント利益	1,001,487	24,190	1,025,677	△549,736	475,941

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△68,499千円、子会社株式取得関連費用△305,252千円及び報告セグメントののれん償却費△175,984千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「共創プロダクト販売」に該当していた株式会社PlantStreamの事業活動は、株式追加取得による完全子会社化以降は、「プロダクト事業（旧 自社プロダクト）」に含めております。

4. 報告セグメントのセグメント利益は、営業利益にのれん償却費を足し戻したのれん償却前営業利益にて表示しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「プロダクト事業」において、株式会社スタッグ、株式会社建設ドットウェブ、アサクラソフト株式会社及び株式会社レッツの株式取得に伴いのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,991,224千円であります。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（測定方法の変更）

当第3四半期連結累計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に管理するため、従来、セグメント利益には、経常利益を用いておりましたが、営業利益にのれん償却費を足し戻したのれん償却前営業利益に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しております。

この変更に伴い、従来の経常利益での集計に比べ、前第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、「DX事業」で50,825千円増加、「共創プロダクト販売」で3,422千円増加、「プロダクト事業」で15,982千円増加、調整額が751,616千円増加しております。

（セグメント名称の変更等）

当第3四半期連結累計期間より、事業内容をより明確に表現するため、セグメント名称を「プロダクト共創開発」から「DX事業」、「自社プロダクト」から「プロダクト事業」へそれぞれ変更しております。

また、「共創プロダクト販売」に該当していた株式会社PlantStreamの事業活動は、2025年3月の完全子会社化より「プロダクト事業」に含めており、当第3四半期連結累計期間では「共創プロダクト販売」に該当する取引がないことから、同セグメントを報告セグメントから除外しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の名称で記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(株式交換)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、2025年7月4日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社とし、株式会社スタッグを株式交換完全子会社とする株式交換を実施したことにより、資本金が238,628千円、資本剰余金が247,001千円増加しております。

また、2025年11月27日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社とし、株式会社建設ドットウェブを株式交換完全子会社とする株式交換を実施したことにより、資本金が44,217千円、資本剰余金が37,293千円増加しております。

さらに、2026年1月23日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社とし、株式会社レッツを株式交換完全子会社とする株式交換を実施したことにより、資本金が411,588千円、資本剰余金が390,452千円増加しております。

(自己株式の取得)

当社は、2026年1月5日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式96,500株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が339,043千円増加しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	23,776千円	198,867千円
のれんの償却額	15,982千円	175,984千円